

事業者や農家の方向け支援策のお知らせ

問合せ…産業振興課産業観光係 【☎35-1232】

町では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者や農家の方々に対し、町独自の支援策として様々な取り組みを実施してします。

下記のうち、対象となる支援策がございましたら期日までにお申込みいただきますようお願いいたします。

農業担い手応援給付金

新型コロナウイルスの影響により売上が減少した花き農家・畜産農家・認定農業者・認定新規就農者に対して、町内農業担い手応援給付金（一律5万円）を交付します。対象者や申請方法等については、町ホームページをご確認ください。

「新たな生活様式」 移行支援事業

中小規模の町内飲食店が「新たな生活様式」へ移行するにあたり、感染予防対策として行うマスクや消毒液の購入、店舗の改修費等について、5万円を上限に実費を補助します。対象者や申請方法等については、町ホームページをご確認ください。

中小企業制度融資利子および 信用保証料臨時補助事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた事業者の円滑な資金調達を支援し、経営の維持安定に資するため、埼玉県制度融資等の借入れを行った町内の中小企業者（個人事業主含む）に対し、補助金を交付します。補助対象者や、対象となる融資など、詳細については町ホームページをご確認ください。

◆補助額

- ①利子補助…年間19万円まで（最長3年間）
- ②信用保証料補助…最大88万円または借入額の2.2%

町内商工業者の皆さま 「応援給付金」の申請をお忘れなく

新型コロナウイルス感染拡大により、売上げが減少した町内商工業者に対して、一律5万円の給付金の交付を行っています。個人事業主も申請できます。まずはお相談ください。交付要件や申請方法等については、町ホームページで確認できます。



こむぎっちプレミアム付商品券 応募受付中!

新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛や営業自粛によって影響を受けた町内事業所の支援と、地域経済の回復を後押しするために、プレミアム率50%の商品券を発行します。

購入には、往復はがきによる応募が必要です。詳しくは、広報かみさと10月号と同時に配布した上里町商工会のチラシ、または上里町商工会ホームページをご確認ください。

【商品券概要】

- 応募期間…10月1日(木)～10月20日(火) (当日消印有効)
- 販売価格…1冊10,000円で販売※1人5冊まで
- 商品券内訳…共通商品券12,000円 / 飲食店専用商品券3,000円
- 利用期間…12月1日(火)～令和3年5月31日(月)

問合せ…上里町商工会 【☎33-0520】

新型コロナウイルス感染拡大防止のための

町長メッセージ（令和2年9月10日）

8月中旬以降の本庄児玉地域での新型コロナウイルス感染拡大に、不安を抱かれています。8月17日から8月31日までの陽性者は、本庄保健所管内で46人。このうち感染経路不明の方は数名で、多くは陽性者と一緒に飲食を共にした方、またそのご家族であることが分かっています。いわゆる「第1波」の頃の緊張感が薄れてきてはいないでしょうか。外出時にはマスクを着用、手洗いの励行、「密閉・密集・密接」を避けた生活など、予防のための行動を一人ひとりが心がけていただきたくお願いします。

感染する主な原因は「マスクを外して唾液が飛び交うような環境」のようですので、食事の際でも会話をするとき等は極力マスクを着用するなど、いま一度、「自分がうつらない、ひとにうつさない」という自覚を持った行動をお願いします。今回の感染拡大は、この地域に暮らす一人ひとりの問題です。誰も望んで感染する人はいません。不幸にも感染を受けてしまった方々を、我々は温かく見守り、早期の快復をお祈りしましょう。

また、日夜感染リスクと向き合いながら必死で治療にあたっている医療従事者の皆さま、それぞれの立場で感染予防に努めてくださっている皆さま、そしてご家族の皆さまに、みんなで感謝とエールを贈りましょう。「本当にありがとうございます」。

終息が見通せない中、今できる感染予防を継続する、自分の行動習慣を見直すなど、私たち一人ひとりの行動変容が地域の安心をつくります。どうすれば感染予防をしながら楽しい時間を過ごせるか、みんなで知恵を出し合い、感染拡大防止に力を合わせてまいりましょう。

令和2年9月10日

上里町長 山下博一

インターン生が役場の職場体験で広報取材

～上里町放課後子供教室推進事業『のびっ子教室』～

みなさんは『のびっ子教室』を知っていますか？

『のびっ子教室』とは、放課後に小学校の施設を利用し、子供たちが仲良く一緒にのびのびと過ごせる居場所を設け、学習から始まり、工作や読書、折り紙など様々な遊びをサポートと呼ばれる地域の方々の協力を得ながら実施している交流の場です。

実際に『のびっ子教室』へ行ってみると、子供たちはすれ違う私に明るく元気な挨拶をして迎えてくれました。学習の時間になると、それぞれの宿題を真剣に取り組む姿があり、わからない箇所はサポートに教わりながら勉学に励んでいました。宿題を終わらせた子供たちは、人権教育として「いじめ防止」のアニメを見ました。アニメをとおして登場人物の気持ちを考えることにより、改めて“いじめをしてはいけない”という意識を高めていました。

また、コロナ禍の中でも子供たちが安心・安全に活動できるように、消毒・マスクの着用・部屋の換気などの感染防止対策を行うとともに、エアコンや扇風機をつけて熱中症予防をするなど、二重の対策が実施されていました。

子供たちが地域の大人と関わることで成長し、大人の方も子供たちから元気をもらうことができる素晴らしい取り組みだと感じました。



▲『のびっ子教室』の様子

私が取材しました！

《インターン生》

日本大学法学部 公共政策学科
行政職課程 3年

にへい みずき
仁平 瑞希 (21歳)

